万引対策百般 TOKYO立ち（だ） 余話（21）

科学保安講習 夫れ（そ）LP道は一（ひとつ）なり、だが道を進むためには

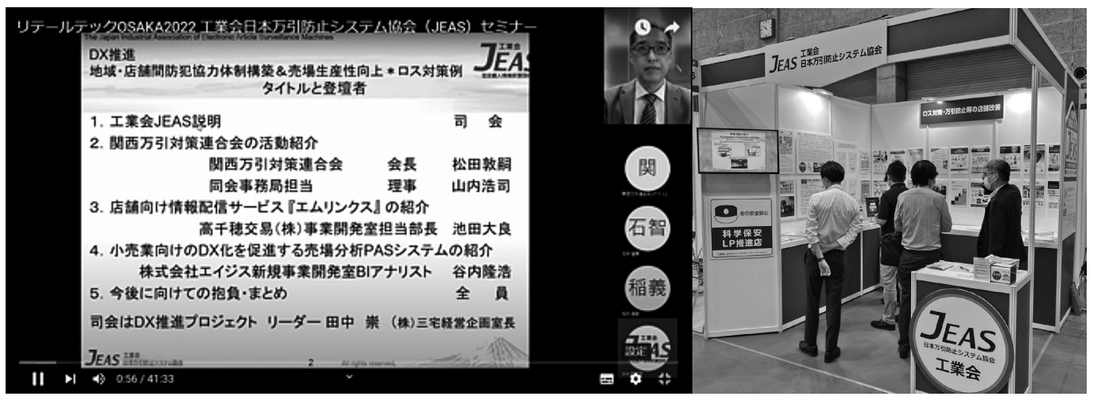
NPO法人 全国万引犯罪防止機構

7月の活動報告

7月は第7回講習会、リテールテックOSAKA2022でのブース出展＆オンラインセミナー、JEAS会報37号～通常総会記念号～の発送、個人情報保護委員会との打ち合わせ等で忙殺され、ようやく落ち着いたのは8月上旬であった。その間、第7波コロナのまん延、大国による対話無き弱い者イジメが続き、元首相の暗殺に端を発した宗教法人との癒着、東北・日本海地域の水害などで、世相は晴れない日が続いた。

そんなとき、田部重治氏の「山と渓谷」と出会った。この明治から大正にかけての近代登山のパイオニアの随筆には、私が少年時代を過ごした早月川、その上流になるバンバ島から続く立山登山、上市町山間部の山里の囲炉裏の風景が描写されていた。草鞋で沢を登り、藪の中を進み、切り立った尾根を伝う。英文学者である田部氏のペンを通し、山々の頂・森林・渓谷・高原の宿る悠久なる生命の営みが感じることができた。夏の日のこずえをわたる風を感じた。この本でもっとも心に残った一節は『木暮君によって教えられたことは、山を歩く仕方の実証的なことであった。予備知識を確実にして、道が怪しいと思う場合には確かな点まで戻るのが、いつも同君のやり方であった。大抵の人には遭難ともなりそうなところでも、同君ならば、大抵、大丈夫という感じのするのが常であった。案内者なしで、同君との登山がいつも安全であったのは、全くその故であった思う』である。なぜなら、当時、その多くは道には標となるものが無かったのだ。思うに、これは登山だけでなく、事業活動においても木暮君のような方が必要だと思う。立ち止まって360度見渡せば、私のまわりにも小暮君のような実証的で信頼できる方がいる。面と向かってお礼を言ったことはないが、確かにその人はいる（感謝）。この随筆はそんなことをしみじみと思い起させるsense of wonderな文庫は「ベトナム人窃盗グループの万引き60件を検挙 12都県のドラッグストアで被害総額はおよそ770万円」というニュースが流れた。ニュースでは「ベトナム人3人が万引きを繰り返していた窃盗事件で警察は60件を検挙し、捜査を終結したと発表しました。被害総額は770万円にのぼるということです。ベトナム国籍の無職の25歳の男ら3人はすでに窃盗容疑で逮捕されていて、警察が防犯カメラや目撃者からの情報をもとに余罪を調べていました。警察によりますと、3人は転売目的で去年の3月から東北から近畿にかけての12都県のドラックストアで化粧品や医薬品などの万引きを繰り返していたとみられています。一度の万引きで買い物かご1個分の大量の商品を数分で盗んでいたということです。警察は、3人が60件の万引きに関与し、被害総額はおよそ770万円に上ると発表しました」とあった。

★5月20日に三重県では「三重県の男が、万引きした商品を換金して、当時の妻の口座に隠した疑いで追送検されました。万引きの総額は、10年間で1億円分にのぼるとみられています。警察によりますと、追送検された三重県津市の無職・容疑者（53）は、家電量販店で万引きした商品を換金し、当時の妻の銀行口座に隠すなどした、組織犯罪処罰法違反の疑いが持たれています。男は、津市内の家電量販店で、ワイヤレスイヤホン5個、14万円相当を、万引きした窃盗の疑いで、ことし1月に逮捕され、警察が金の流れを調べる中で、家電を換金し、妻の口座に隠していたことがわかりました。警察は、男が三重県のほか、愛知や大阪の家電量販店で日常的に、総額1億円分を万引きしたとみて調べています。」というニュースが流れた。この件は手口が悪質なので、JEASメンバーに公判を傍聴してもらっている。多くの家電チェーン店が被害にあっており、10年もの長きにわたって犯行を繰り返すことができたのは、チェーン店同士の連絡体制が無かったことが背景にあると思う。ベトナムの集団窃盗団や日本人の職業的万引犯などの要因により、令和3年の万引犯罪の検挙件数も前年の令和2年より884件も増加している。もはや、万引対策は一社の頑張りだけでどうにかできるレベルではないのだ。



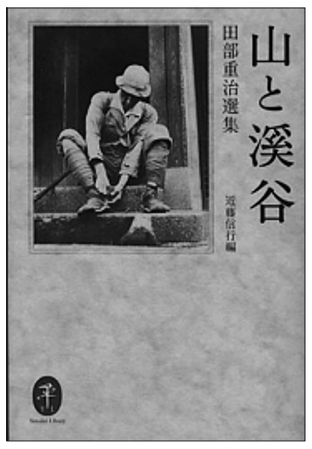
7月21日・22日に開催されたリテールテックOSAKA2022のJEASブースとオンラインJEASセミナー

7月14日にハイブリッド開催された第7回JEAS講習会

最近の大量万引事犯より

★6月21日には北海道で「ベトナム人3人連続窃盗事件 大量の化粧品やビタミン剤 被害総額は約400万円に 母国で転売目的か」というニュースが流れた。具体的には「公開された大量の化粧品やビタミン剤。これらは、すでに逮捕、起訴されているベトナム人の男3人が、ドラッグストアなどから盗んだ物です。警察によりますと、3人は去年9月から11月にかけて、道内外で合わせて31件の盗みを繰り返し、被害総額はおよそ400万円に上るということです。盗んだ商品はベトナムに送り、転売する目的だったとみられています」とあった。

★7月13日に静岡県では「ベトナム人窃盗グル



各種研修会を俯瞰する

店舗のロス対策や万引防止に向けて、ロス対策士をはじめとして、さまざまな資格制度や講習会が開催されている。どの制度もよく考えられており、必要不可欠な教育制度だと実感している。それを可視化するために、自分なりに俯瞰図を考えてみた。そうすることでそれぞれの研修制度の目的としてのポジショニングを整理してみた。そうするとまだまだ手薄な領域が見えてくる。

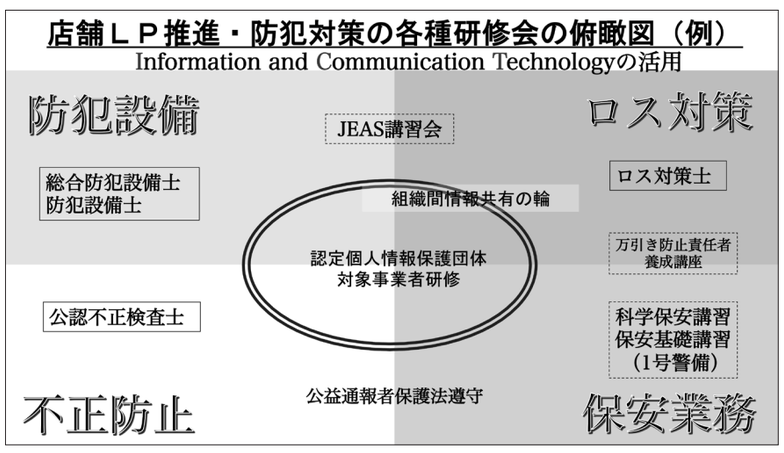
例えば、個人情報保護法への対応がその最たるものである。巷では、顔の輪郭や歩容は個人情報では無いというように見える売り方が散見されるが、個人情報保護法では、「個人識別符号」を特定の個人の身体の一部の特徴を電子計算機の用に供するために変換した文字、番号、記号その他の符号であって、当該特定の個人を識別することができるものと定めている。カメラ画像の場合、顔貌や歩容などの特徴を抽出した場合、それはまさしく個人情報である。

さらに言えば、マスキングやトリミングされた画像を匿名加工情報として扱うためには、元画像は破棄して特定の個人を識別できない、復元できないようにする必要がある。加工匿名加工情報に関する法43条第1項において、匿名加工情報を作成するときは、「特定の個人を識別すること及びその作成に用いる個人情報を復元することができないようにする」必要があると規定されているためである。しかし、カメラ画像は対策や捜査協力のため、一定期間残す必要があり、現実的に元画像は破棄することは難しい。

しかし、その課題を解決し、他社との防犯情報の共有する仕組みを構築しなければと思う。共有即時性があり、分析・予測機能をもった仕組みを法律面に対処しながら進めたい。その準備が遅れれば遅れるほど万引犯罪がまん延していくからだ。

参考情報として、6月20日に個人情報保護委員会HPにて、第5回犯罪予防や安全確保のためのカメラ画像利用に関する有識者検討会が開催され、報告書素案が公開された。以下はその抜粋であるが、認定個人情報保護団体としての役割や国民の理解を得るための周知、情報発信が謳われている。

https://www.ppc.go.jp/personalinfo/camerakentoukai/20220620/



（2） 認定個人情報保護団体

現在、認定個人情報保護団体として活動する団体に加え、業種ごとの団体において顔識別機能付き防犯カメラの取扱いについて以下の活動をすることも求められる。

- 自主ルールの整備
- 対象事業者が実施するPIAのチェック
- 対象事業者の運用のチェック
- 対象事業者による本人対応（開示等の請求、苦情処理等）のサポート

第6章 国民の理解を得るための周知、情報発信

- これまで述べてきたことに加え、以下の対応が期待される。

1 事業者

- 顔識別機能付きカメラシステムについての周知広報（カメラシステムにより個人情報を取り扱われる個人の数的規模や地理的範囲に応じた広報）
- 顔識別機能付きカメラシステムを利用する必要性、個人の権利利益のへの影響及びその効果（対象とする犯罪行為等の発生数の変化等）の広報（透明性レポートの一部としての広報も含む）
- 顔識別機能付きカメラシステムを利用した取組への問合せ対応

2 民間団体（認定個人情報保護団体を含む）

- 防犯カメラシステムの仕組みや用途についての分かりやすい説明
- 優良事例の広報
- 防犯カメラシステムの認定事業、どのような機能のカメラが設置されているか一見して理解できるアイコンの作成

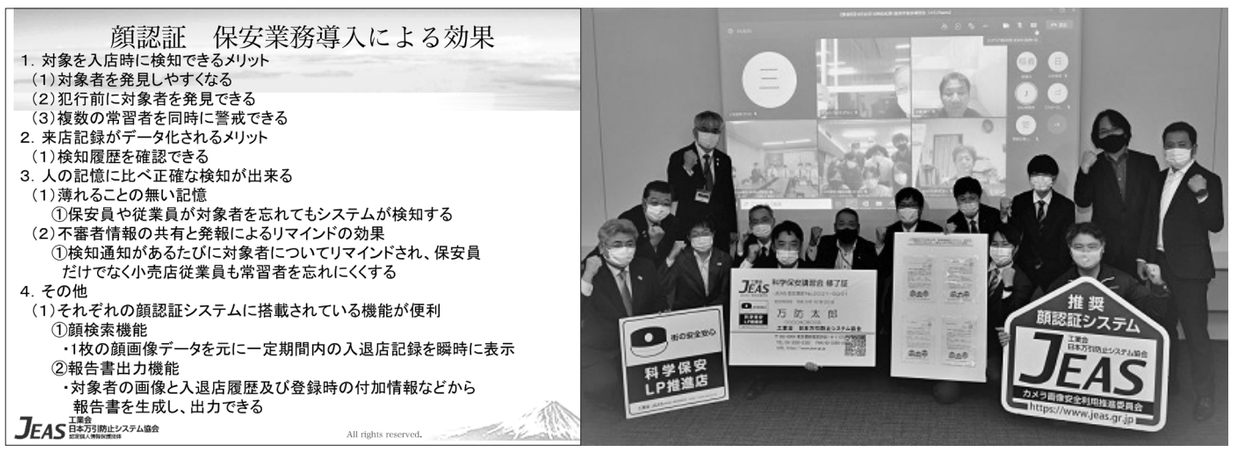
☆国民的理解の醸成の一環として、第24回自動認識総合展・自動認識セミナーにおいて、防犯カメラの工業会＆認定個人情報保護団体の責任者として9月15日に登壇させていただくことにした。タイトルは「万引防止に関する画像認識の状況や使用事例、法律的な課題」である。防犯カメラなど画像関係を生業にされている方々には参加いただきたく思っている。

https://autoid-expo.com/tokyo/jp/visit/seminar.php#s3

☆昨年10月22日に、第1回科学保安研修会を開催し、参加者全員32名よりアンケートで「大変よかった」をいただいたが、本年も11月18日に開催する。合格者は「全国科学保安警備MAP」に企業名・氏名を記載させていただく予定である。

https://www.jeas.gr.jp/pdf/20211116.pdf

この講習会を開催するに至った背景には、保安警備は多くの小売業で必要な業務ではあるが、確保の際の危険性がある上に、誤認逮捕などのリスクがあるため、保安会社の廃業や保安業務をやめる警備会社が出てきており、保安業務を頼みたくても近隣に保安会社が無い県が散見されるようになってきていることがあげられる。そこで保安の実情を我が事としてお聞きし、負の連鎖を断ち切る打開策として、進化する顔認証システムを活用した新たな保安警備としての科学保安講習会が生まれた。右の写真は第1回時の記念写真である。施設警備や防犯設備関係者からの申込みも大歓迎である。



万防機構の活動情報

現在、万防機構・事務局は会報31号の作成を行っている。その内容は、6月14日（火）に開催された通常総会での各委員会発表、そしてロス対策士の活躍の内容などが記載される予定である。総会時に発表した中学生向けの万引防止用の壁新聞や保護者用リーフレットは6月15日の産経新聞、7月13日の共同通信配信で日経新聞等10紙に掲載された。

https://www.manboukikou.jp/distribution/

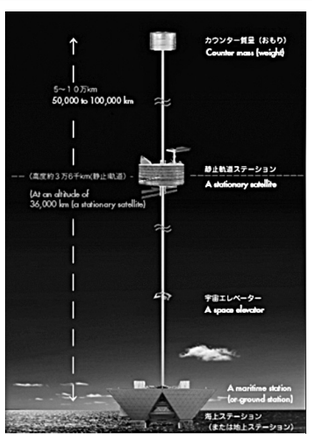
防犯・ロス対策をICT活用でより効果的に

いままでバラバラに実施されていた各対策をより効果のあるものにするためにはICT（Information and Communication Technology）の活用が不可欠になっている。令和5年6月2日のJEAS総会記念講演会は、①ICT教育の第1人者である神奈川大学附属中・高等学校副校長 小林道夫先生、②IT技術を駆使しつつロープライスを実現しているチェーン本部に依頼した。

小林道夫先生は、プログラミング教育やインターネットを活用した海外との交流学習などの実践を重ね、2003年よりNHK高校講座「社会と情報」の番組講師になった。小林先生というと何だかこちらも照れるが、実は小林君とは北加積小学校、早月中学校、滑川高校までの同窓生である。道夫君は、ICTという道を歩いてきた。私はLPという道は歩いてきた。だが、その道は、迷いの連続だった。きっと道夫君にも、道が怪しいと思う場合には確かな点まで戻るようアドバイスしてくれた人がいたはずだ。近日、一杯やることにしたので、そのことを聞いてみようと思う。

現在、道夫君は宇宙エレベーターロボット競技会委員会実行委員長として、子どもたちに遥かな未来への道を作っている。彼のことを思うと気持ちが晴れ、青い空が広がっていく。

http://space-elevator.tokyo/committee/



全国万引犯罪防止機構（通称：マンボウ）

万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人

文：事務局（稲本義範）

「第2回科学保安講習会」当日のスケジュール案

（諸事により内容を一部変更する場合があります）

日時：11月18日（金）13:00～17:00

時間	内容
12：30	会場開場・受付開始 / Teams受付開始
12：55	集合時間・諸注意説明
13：00～13：15	主催者挨拶・第3回推奨顔認証交付式（15分）
13：15～13：30	推奨顔認証システム制度・全体説明（15分）
13：30～14：10	顔認証を使った保安業務（40分）
14：10～15：10	推奨顔認証システム機器各社説明（60分）
15：10～15：25	休憩（15分）
15：25～15：40	個人情報保護（保護指針と冊子）（15分）
15：40～15：55	全館管理と防犯会議事例紹介（15分）
15：55～16：10	全体のデータ活用（15分）
16：10～16：30	質疑応答・こんなときはどうする？（20分）
16：30～16：50	確認テスト（20分）
16：50～16：55	閉会の辞（山根副会長より）（5分）
16：55～17：00	今後の予定・閉会（10分）

講習会場のご案内MAP

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階

電話：03-3355-2322 ファックス：03-3355-2344

第2回「保安警備業務の手引 第2版」講習会スケジュール案

10月21日（金）14:00～16:00にオンライン<Teams>で開催

正担当 プロジェクトリーダー 青柳講師（㈱日本保安 代表取締役社長）

副担当 プロジェクト技術スキル向上WG長 林講師（㈱JSS第1保安警備事業部部長）

※会場参加者を含め参加の方には事前にTeams招待状を送り、送受信テストを行います。

※合格者は「JEAS画像安全利活用＊警備全国MAP」に企業名・氏名を記載させていただく予定です。https://www.jeas.gr.jp/pdf/20211116.pdf

2

令和4年7月吉日

JEAS会員、関係各位

工業会 日本万引防止システム協会
会長 稲本 義範
科学保安講習会プロジェクトリーダー 青柳 秀夫

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

工業会 日本万引防止システム協会 主催「第2回科学保安講習会」ご案内

さて、工業会 日本万引防止システム協会では、昨年に引き続き第2回科学保安講習会を開催します。この講習会は、カメラ画像安全利用推進委員会と保安会社メンバーが立案し、当工業会が推奨する安全・安心の顔認証システムを活用し、効果的に安全に保安業務が遂行できるようになることを主眼に置いています。さらに、JEAS認定個人情報保護団体ページの各冊子を正しく理解しながら、防犯情報の活用と防犯会議の進め方を学ぶことで、ロス対策業務の水準向上と生産性向上の両立性を目指しております。

本講習会に、保安警備・施設警備・それらの運用サポートに携わる皆様が受講していただくことで、ご利用ユーザーのご満足度向上につながることを願っております。会場参加に加え、TV会議（Teams）での参加をご用意しました。

多忙の中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、お申込みくださいますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

「第2回科学保安講習会」概要

1．目的
JEAS推奨顔認証システムを使って、効果的に安全に保安業務を遂行（分析や会議報告も含む）できるようになる。併せて、JEAS認定個人情報保護団体ページの各冊子を理解していただくことを目指します。

2．日時と会場
日時：11月18日（金）13:00～17:00
会場：YOTSUYA TOWER 7階 高千穂交易㈱ セミナールーム または Teams参加

3．対象者： 保安業務、施設警備業務、防犯・総務系業務、LPサポートに関わる方々

4．参加人員： 30名 ①希望者多数の場合は正会員優先とさせていただきます。
②対象者がいる会員は可能な限りご参加をお願いします。
③原則、キャンセルが無いようにしてください。

5．参加費用：JEAS会員企業・・5,000円税込/人、JEAS会員企業外・・10,000円税込/人

6．お振込先：11月15日（火）までにJEASの口座に参加費用をご入金ください。
みずほ銀行四谷支店 普通預金1956196 工業会日本万引防止システム協会

7．修了証発行（JEAS登録番号入り）・・名刺サイズ

8．ご不明な点はJEAS事務局までお願いします。
℡03-3355-2322
尚、参加お申し込みを別添申込用紙にて11月11日（金）までにE-mailまたはFAXにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

9．本講習会は、（一社）全国警備業協会発行の「**保安警備業務の手引 第2版**」を理解している方々を対象としています。本研修会参加者は、「保安警備業務の手引 第2版」※を必携いただくとともに、まだ理解不足を思われる方は、10月21日（金）14:00～16:00にオンライン<Teams>で開催される**第2回「保安警備業務の手引第2版」講習会**にご参加ください。（無料）
正担当 プロジェクトリーダー 青柳講師（㈱日本保安 代表取締役社長）
副担当 プロジェクト技術スキル向上WG長 林講師（㈱JSS第1保安警備事業部部長）
※テキストの注文は別紙の発注書参照のこと

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体

1